

大正五年四月六日第三種  
物認可  
昭和二十三年五月卅日印刷納本  
(毎月一回一日發行)

# 哲 學 研 究

第 三 十 三 卷      第 二 冊

第 三 百 七 十 一 號

昭和二十三年五月十三日發行

聖アウグスチヌスに於ける  
同心の問題  
……文學士 山田 晶

——序 論——

中觀哲學の根本的立場(完)  
……文學士 長尾 雅人

リボーに於ける創造的  
想像力の分析(完)  
……文學士 西村 嘉彦

京 都 大 學 文 學 部 內  
京 都 哲 學 會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回(研究會ヲ開ク
  - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
  - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年百八十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學博士	白井二尚
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	國原太郎
文學士	高田三郎
文學士	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學博士	久松眞一
文學博士	本田義英
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

彙報

印度・佛教學會

二月十四日 午後一時半 於 東方文化研究所

報身の哲學 尾山・雄一氏

名の虚妄性 常盤・義伸氏

眞言の本質 佐々木・龍寶氏

倫理學研究會

二月十四日 午後二時半 於 第一演習室

カントの純粹直観について 森口・美都男氏

教育研究會例會

二月二十一日 午後二時 於 第三演習室

教育回顧 小淵西・重直博士

前 號 目 次

中觀哲學の根本的 立場(永野)	文學士 長尾雅人
音樂に於ける意匠 と表現(永野)	文學士 張源祥
パスカルとその 生涯 — 探求としての生 —	文學士 植元和一

# 會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市田中西浦町弘文堂書房  
内京都哲學會宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ  
送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務  
ハ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」  
宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ヲ印章捺捺致ス  
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌  
等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學 京都哲學會  
文學部内

## 註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する  
件は、弘文堂書房へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵務共前金にて御送り  
下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券五十  
錢御送付下され度候

昭和二十三年五月卅日印刷納本  
昭和二十三年五月卅日發行

編輯人 京都大學文學部内

右代表者

小 田 武

發行兼印刷人 八坂淺太郎  
東京都千代田神田區河原町四

印刷所(京都七丸) 弘文堂印刷部  
京都市田中西浦町四〇

配給元 日本出版配給株式會社  
東京都千代田神田區淡路町二ノ九

發行所 弘文堂書房  
東京都千代田神田區河原町四

價 定		冊 數	定 價	郵 稅
主册(前金)	六册(前金)			
一册	二十圓	二十圓	金五十錢	
六册(前金)	百二十圓	金三圓		
三册(前金)	二百四十圓	金六圓		

(誌代の變更による會費の過不足は  
半年又は一年毎に精算いたします)

大正五年四月六日  
第三種郵便物認可

昭和二十三年五月卅日印刷  
昭和二十三年五月卅日發行  
（每月一回）

哲 學 研 究 第 三 百 七 十 一 號

定 價 金 二 十 圓

郵 稅 金 五 十 錢